



# 平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社ハブ

上場取引所 東

コード番号 3030 URL <https://www.pub-hub.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 剛

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 土屋 雅嗣

TEL 03-3526-8682

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年2月期第3四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	8,664	5.4	538	6.8	538	6.8	357	7.7
30年2月期第3四半期	8,216	9.0	577	15.2	577	15.1	387	20.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	31.74	
30年2月期第3四半期	34.39	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	5,723	4,044	70.7
30年2月期	5,611	3,833	68.3

(参考)自己資本 31年2月期第3四半期 4,044百万円 30年2月期 3,833百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		13.00	13.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				14.00	14.00

(注1)直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

(注2)平成30年2月期の期末配当金の内訳 普通配当11円、記念配当2円、合計13円

## 3. 平成31年2月期の業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,850	7.9	800	2.9	800	2.5	530	6.5	47.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	11,265,300 株	30年2月期	11,265,300 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	2,215 株	30年2月期	2,215 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	11,263,085 株	30年2月期3Q	11,263,130 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景とした緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性の高まりや物価上昇等による消費意欲の不安定さなどから、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移いたしました。

外食産業におきましては、労働需給逼迫による人件費や物流費の上昇に加え、働き方改革などの社会構造の変化や消費嗜好の多様化等による業種業態を越えた顧客獲得競争が一層激化するなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、「中期経営計画(2016年～2018年)」の最終年度となる当事業年度におきましては、「変革せよ。変革を迫られる前に～Change before you have to.～」を年度方針に定め、従業員一人ひとりが現状の殻を打ち破り、お客様をワクワクドキドキさせ続けるアイデアを店舗から創出し、真にイノベーションが起こる風土の醸成を目指した取り組みを推進いたしました。また、原材料価格及び人件費の上昇が常態化した社会環境のもと業種業態を問わず多くの企業で値上げの動きがみられるなか、当年6月よりHUBブランド、10月より82(エイティトゥ)ブランドにおきまして、ワンコイン(500円)以下でお買い求めいただける高品質・低価格なメニューをドリンク・フード共に大幅に拡充することにより、さらにリーズナブルな価格で、より一層選ぶ楽しみを充実させたメニューラインナップといたしましたところ、お客様から大変ご好評をいただきました。さらに、6～7月に実施し大きな盛り上がりをもせたスポーツイベント、早い時間帯での飲酒需要の積極的な取り込み、当社初となるプロ野球チームやラグビートップリーグチームとのタイアップ、店舗毎の特性を精査し更なる効率的な店舗運営の実現を図った一部店舗の営業時間変更等の施策が奏功し、当第3四半期累計期間の既存店対前年同期比につきましては、売上高102.5%、客数102.7%となりました。

一方、常態化している原材料価格及び人件費の上昇や当第3四半期会計期間における悪天候による売上高減等により、利益面においては厳しい影響を受けることになりました。

店舗につきましては、「HUB仙台マーブルロード店」、「HUB飯田橋東口店」を出店し、当第3四半期会計期間末現在における店舗数は106店舗となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は8,664百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は538百万円(前年同期比6.8%減)、経常利益は538百万円(前年同期比6.8%減)、四半期純利益は357百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて112百万円増加し、5,723百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて126百万円増加し、2,375百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて14百万円減少し、3,348百万円となりました。これは主に減価償却等に伴い有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べて98百万円減少し、1,679百万円となりました。これは主に賞与引当金及び買掛金が増加したものの、未払法人税等及び未払金が減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べて211百万円増加し、4,044百万円となりました。これは主に配当金の支払により146百万円減少したものの、四半期純利益357百万円を計上したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の通期業績予想につきましては、平成30年4月13日発表の決算短信で開示した予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,808,689	1,879,681
売掛金	40,891	58,520
原材料及び貯蔵品	76,881	79,417
その他	322,042	357,415
流動資産合計	2,248,505	2,375,034
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,710,201	1,706,419
その他(純額)	458,450	396,801
有形固定資産合計	2,168,651	2,103,221
無形固定資産	39,488	34,075
投資その他の資産		
保険積立金	—	38,500
差入保証金	1,032,009	1,046,911
その他	122,875	125,919
投資その他の資産合計	1,154,884	1,211,331
固定資産合計	3,363,024	3,348,628
資産合計	5,611,529	5,723,662
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	247,296	292,607
1年内返済予定の長期借入金	80,096	56,096
未払金	341,339	242,775
未払法人税等	240,000	72,500
賞与引当金	145,928	211,914
その他	382,134	463,602
流動負債合計	1,436,795	1,339,495
固定負債		
長期借入金	82,712	41,640
リース債務	73,528	63,442
長期前受収益	—	45,000
長期未払金	4,000	4,000
資産除去債務	180,966	185,524
固定負債合計	341,207	339,607
負債合計	1,778,002	1,679,102
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	631,793	631,793
資本剰余金	195,393	195,393
利益剰余金	3,007,598	3,218,631
自己株式	△1,257	△1,257
株主資本合計	3,833,527	4,044,560
純資産合計	3,833,527	4,044,560
負債純資産合計	5,611,529	5,723,662

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	8,216,801	8,664,362
売上原価	2,125,552	2,299,022
売上総利益	6,091,249	6,365,339
その他の営業収入	51,363	53,027
営業総利益	6,142,612	6,418,367
販売費及び一般管理費	5,565,070	5,880,238
営業利益	577,542	538,129
営業外収益		
受取利息	22	23
雑収入	3,996	2,659
営業外収益合計	4,019	2,683
営業外費用		
支払利息	4,046	2,728
営業外費用合計	4,046	2,728
経常利益	577,515	538,084
特別損失		
固定資産除却損	10,613	1,635
特別損失合計	10,613	1,635
税引前四半期純利益	566,901	536,448
法人税、住民税及び事業税	218,212	183,147
法人税等調整額	△38,661	△4,150
法人税等合計	179,551	178,996
四半期純利益	387,350	357,452

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。